

基本プログラム評価アンケート（ひな形）

あなたについてご記入ください（○をつけてください）

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	その他
性別	男性	女性	その他				
職業	管理職	技術職	営業職	経理・財務職	総務職		
	人事職	秘書職	その他（	）			
障害のある方との 関り	あり	なし					
	ありと答えた方⇒	家族	親しい友人	知人	同僚		
		お客様	その他（	）			

次から、心のバリアフリーに関わる設問となります。以下に留意してご記入ください。

- このアンケートは、研修前と研修後に答えていただきます
- テストではありませんので、あなたのお考えや行動についてありのままお答えください
- 該当する箇所に☑をつけるか、自由記述の欄に記入してください

研修の受講前にご記入ください

① あなたは、「障害の社会モデル」という言葉をご存知ですか？

「障害の社会モデル」という言葉を知っているか？	<input type="checkbox"/> 知っている <input type="checkbox"/> 知らない <input type="checkbox"/> 聞いたことはあるがわからない
知っていると答えた方、どんな意味ですか？	<input type="checkbox"/> 困っている方がいたら声をかけること <input type="checkbox"/> 障害は、障害のある方の中に原因があり、解消するには障害のある方が努力しなければならない <input type="checkbox"/> 障害の特性について知ること <input type="checkbox"/> 障害のある方はかわいそうだから、保護しなければならないこと <input type="checkbox"/> 障害は社会環境の中に作られており、それを取り除くことが必要であること <input type="checkbox"/> 差別を行わず、多様な人々とのコミュニケーションをする力を磨くこと <input type="checkbox"/> 段差を解消すること <input type="checkbox"/> その他 <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>

② あなたの「障害」に対する考えについて、もっとも近いと思われるものに○をつけてください

	非常に賛成	賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	反対	非常に反対
障害を解決する責任は、障害者本人にある							
障害のある人に対して、変な遠慮はしない							
私にも、障害の解決のために、できることがある							
障害は、身体的、精神的、知的など機能的な障害に問題がある							
障害のある人と、抵抗なく話をするができる							
障害のある人を自分たちの仲間に入れることに抵抗感はない							
障害のある人と友人になりたい							
障害のある人と一緒に仕事をしたい							
障害のある人が困っているときには、迷わず援助できる							
障害のある人ともコミュニケーションをとれる							
社会復帰するためには、障害者自身の努力が必要だ							
障害のある人にためらいなく、ものを尋ねることができる							
障害は固定されたもので、変えることができない							
障害の問題は、自分にはかわりがない							
障害のある人と積極的に交流したい							

出典：『障害平等研修による「心のバリアフリー」推進に関する実態調査（NPO 法人障害平等研修フォーラム）』

研修の受講後にご記入ください

① あなたは、今日の研修で描いた「あなたの行動宣言」を計画通り実行できそうですか？

あなたの行動宣言の内容はどんなものですか？	
行動宣言を計画通りに実行できそうですか？	<input type="checkbox"/> できる <input type="checkbox"/> できないかもしれない <input type="checkbox"/> 実行したくない <input type="checkbox"/> わからない
「できないかもしれない」「実行したくない」「わからない」とした方は、なぜですか？ なにが問題になりそうですか？	

② あなたが研修で学んだ「障害の社会モデル」とはどんな考え方でしたか？

<input type="checkbox"/> 困っている方がいたら声をかけること <input type="checkbox"/> 障害は、障害のある方の中に原因があり、解消するには障害のある方が努力しなければならない <input type="checkbox"/> 障害の特性について知ること <input type="checkbox"/> 障害のある方はかわいそうだから、保護しなければならないこと <input type="checkbox"/> 障害は社会環境の中に作られており、それを取り除くことが必要であること <input type="checkbox"/> 差別を行わず、多様な人々とのコミュニケーションをする力を磨くこと <input type="checkbox"/> 段差を解消すること <input type="checkbox"/> その他
<div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>

③ あなたの「障害」に対する考えについて、もっとも近いと思われるものに○をつけてください

	非常に賛成	賛成	やや賛成	どちらでもない	やや反対	反対	非常に反対
障害を解決する責任は、障害者本人にある							
障害のある人に対して、変な遠慮はしない							
私にも、障害の解決のために、できることがある							
障害は、身体的、精神的、知的など機能的な障害に問題がある							
障害のある人と、抵抗なく話をするができる							
障害のある人を自分たちの仲間に入れることに抵抗感はない							
障害のある人と友人になりたい							
障害のある人と一緒に仕事をしたい							
障害のある人が困っているときには、迷わず援助できる							
障害のある人ともコミュニケーションをとれる							
社会復帰するためには、障害者自身の努力が必要だ							
障害のある人にためらいなく、ものを尋ねることができる							
障害は固定されたもので、変えることができない							
障害の問題は、自分にはかわりがない							
障害のある人と積極的に交流したい							

出典：『障害平等研修による「心のバリアフリー」推進に関する実態調査（NPO 法人障害平等研修フォーラム）』

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。